

鹿児島県漁海況週報

平成30年5月2日発行(4月26日～5月1日)
第2753報【旧暦:3月11日～3月16日/月齢10.0～15.0/潮汐:若潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、4月30日現在、平瀬の北5.5マイル付近にある。

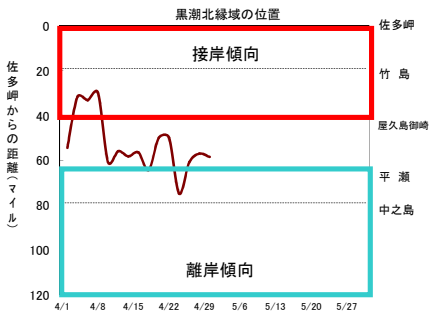
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、4月30日現在、55マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、鹿児島、佐多岬、与論、甌海峡で0.1～0.5℃降温し、竹島で変わらず、その他の海域で0.3～0.8℃昇温した。

平年比較では、笠利崎、与路島で“著しく高め”、中之島で“かなり高め”、黒潮流域、与論で“やや高め”、竹島、屋久島御崎で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.4	+0.3	+0.9	やや高め
鹿児島	19.2	-0.5	+0.3	平年並
佐多岬	19.7	-0.5	-0.2	平年並
竹島	20.0	+0.0	-1.3	やや低め
屋久島御崎	21.3	+0.8	-1.1	やや低め
中之島	25.4	+0.8	+1.5	かなり高め
笠利崎	24.4	+0.3	+1.8	著しく高め
与路島	24.0	+0.7	+1.6	著しく高め
与論	23.5	-0.1	+0.7	やや高め
甌海峡	19.3	-0.1	+0.1	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は4/30～5/1
串木野一甌定期客船観測は5/1

【漁況】

○定置網

甌島海域では、ブリ(4kg)が300～400尾/日、コマサハ(400～700g)が1日のみ2トンの入網。西薩南部海域では、ブリ(5～8kg)が多い日で2トン、アカマス(100g)が1日のみ200～300kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、マシ(50～80g)が1日のみ6トン、ハガツオ(1～3kg)が多い日で300kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でマシ(100～300g)が1トン、ハガツオ(1～2kg)が800kg、コマサハ(0.5～1kg)が200kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で42統がマシ、小サハ類中、カクチイワシ主体に33トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、マシ、アカマス主体に10.8トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、2～4箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、3箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で45箱の漁。

(まき網、棒受網、カツオ羊釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2700報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—	—	—	3	192	0	—	
		中	4	28	甌東 野間池沖	サハ類大52 サハ類豆24 スルメイカ9	7.0	16	186	8	44
	枕崎	大	2	23	屋久島南	コマサハ中小99	11.6	5	193	0	—
		中	2	35	枕崎沖	ウルメイワシ82 コマサハ豆18	17.7	15	412	2	93
	内之浦	中	1	0.4	内之浦沖	チウオ43	0.4	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	—	0	—	0	—
計	大	2	23	—	—	11.6	8	385	0	0	
	中	7	64	—	—	9.1	31	598	10	137	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	—	3	640	1	78	
棒受網	阿久根	8	4	阿久根沖	カクチイワシ51 ウルメイワシ48	0.6	24	28	8	5	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	42	33	—	マシ小33 サハ類中13 カクチイワシ10	0.8	46	58	42	86	
刺網	阿久根	大	0	—	—	—	0	—	0	—	
		小	0	—	—	—	—	0	—	0	—
カツオ羊釣	枕崎	大	0	—	—	—	0	—	0	—	
		小	0	—	—	—	—	0	—	0	—
	海旋	2	834	—	カツオ小49 カツオ中35 キハダ9	417.1	1	558	0	—	
海外旋網	山川	中	12	162	—	カツオ小87 キハダ10	13.5	4	49	0	—
		海旋	1	770	—	カツオ小89 カツオ中5	770.0	2	1491	0	—

○トビウオロープ曳網

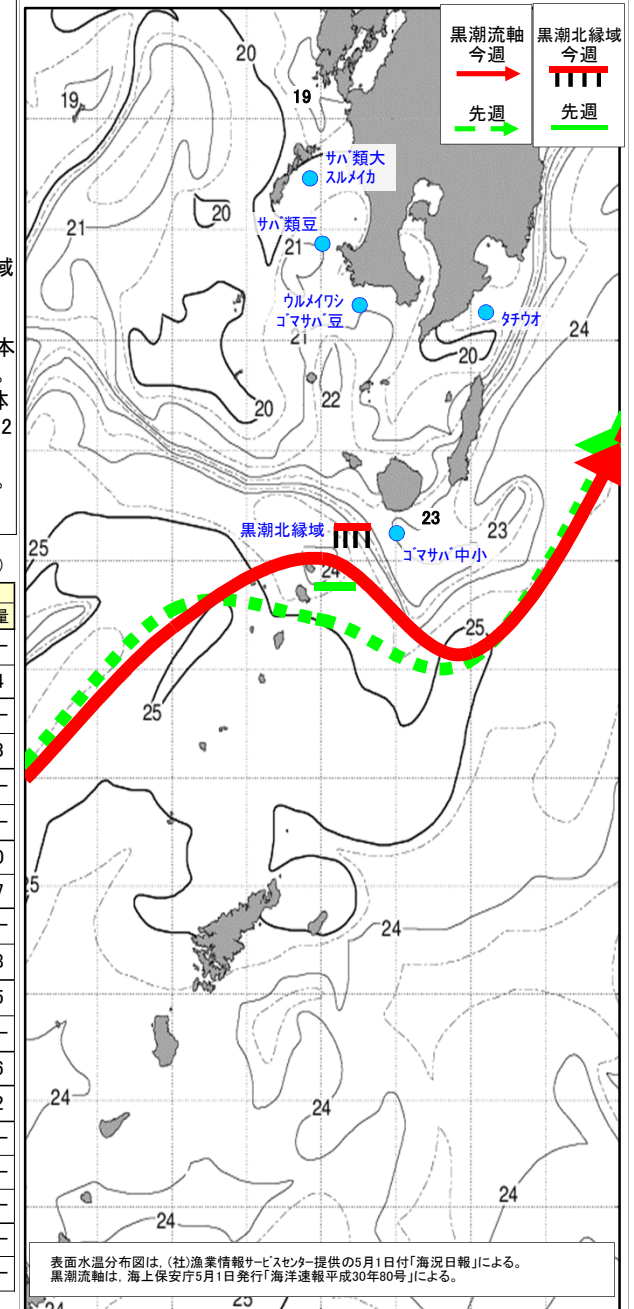
種子島海域では、中トビを100箱/統・日の漁。

○パッチ網

西薩海域では、製品で8トンの入札があった。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～3kg)を10～30kg/隻・日の漁。刺網でチダイ(200g)を多い日で100kg/隻の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを100～150kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでイサキ(300～800g)を週計で100kg/隻の漁。志布志湾海域では、底曳網でチウオ(0.5～1kg)を1日のみ60kg/隻の漁。屋久島海域では、一本釣りでコマサハ(800～900g)を10～50尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの3日操業でツヅカ(胴体のみ10～13kg)を300～500kg/隻の漁。一本釣りの2～3日操業でチウオ(1.5～2kg)を200～300kg/隻の漁。延縄の2～3日操業でムツ(1kg)を250kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の5月1日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁5月1日発行「海洋速報平成30年80号」による。